

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」山形南栄校		
○保護者評価実施期間	R6年 11月 15日		～ R6年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 37
○従業者評価実施期間	R6年 11月 15日		～ R6年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 1月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人一人に合わせたマンツーマンによる個別の支援を提供している。お子さま一人一人の成長、発達した部分を見つけやすい環境を整えている。できるようになった小さな変化にしっかり気付くことができる。	言語聴覚士などの専門スタッフによる訓練を取り入れた言語の支援や、自分が属する社会の中で、うまく人付き合いをしていく力を養う練習するSST支援、成功体験を積み重ねていけるようサポートする学習支援など、一人一人に合わせた支援を組み合わせている。	一般財団法人発達支援研究所と連携して専門スタッフを育成、研修を行い、発達の側面から最先端のサービスを提供している。
2	一人一人がその時必要とするサポートを受けられるよう、お子さまに合わせてオリジナルの教材を製作している。通常の療育だけでは補えない柔軟な支援を実現している。	専門スタッフが作った手作り教材がたくさんある。手先を動かしながら生活に役立つスキルを身に付け、常に様々な課題に取り組めるよう創意工夫をしてサポートを行っている。	一人一人の課題に合わせて一から作ったり、市販の教材やツールに手を加えたりすることで使いやすさを上げる。手作りならではの良さを感じていただける。
3	療育の実施後は必ず保護者様と対話を行っている。療育中の児童のことやご家庭の様子を情報共有し、日々変化する児童に合わせた療育プランを策定している。	保護者さまからの相談にも応じ、日常の負担を軽減する役割も担っている。長きに渡り児童と保護者様と関わることで信頼関係を築き、様々な視点でアドバイスできる。	ヒアリング、プログラムの作成、療育の実施、評価・見直しを繰り返して一人一人にあった療育を作成している。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所がテナントビルの2階にあることから、足の不自由な方や車椅子、バギー等の対応が難しい。駐車場からの経路についても歩道がないため注意が必要。	校舎は大通りに面したテナントビルの2階。大通りに面して入口、階段がある。テナントビル裏に保護者送迎用駐車場がある。	・補助が必要な際は駐車場まで職員が迎えに行くなどの対応を行う。 ・駐車場からの経路についてご利用者に注意を促すとともに、必要に応じて個別に対応していく。
2	フロアの広さが限られているため、思いきり体を動かす活動が難しい。小集団活動など複数の人数で活動する際はフロア全体を使用するため同じ時間に個別の活動を行うことが難しい。	一つのフロアに活動スペースと指導員室があるため狭い。個室もあるが音を完全に遮断できるわけではないため、個別の活動の際は配慮が必要。	・活動スペースをパーティションで区切ったり、必要に応じて個室を使用したりしながら、個別の活動を確保している。 ・過敏なお子さまは時間を変更するなど個別に対応している。
3	お子さまの様子や活動内容の共有を即時行うことが難しい。	担当制ではなく複数の職員でお子さまに関わっている。シフト制のため全員での情報共有の時間を設けることが難しい。	・様々な情報共有ツールを使用して抜けなく引継ぎ、伝達ができるようこれからも取り組んでいく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どもサポート教室「クラ・ゼミ」山形南栄校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 37

回収数 37

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	33	3	1	0	・毎回個室でさせていただいており、比較的集中できてるようです。	事業所は広くはありませんが、個別の活動スペースが確保できるように務めております。お子さまが集中して活動できるよう今後も務めて参ります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	36	1	0	0	・担当の先生と話している時、別の先生が子どもに対応してくれるので、しっかり先生と話ができます。	お子さま一人に指導員一人という配置で活動を行っております。フィードバック時など対応が難しい時もありご迷惑をおかけしておりますが、お子さまから目を離さぬよう努めて参ります。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	25	6	2	4		校舎がテナントビルの二階ということ、駐車場が道路に面していることで、ご不便をお掛けしており申し訳ございません。また入替時など、駐車場の混雑も発生しております。危険がないように適宜対応させていただきますので、何卒ご理解、ご協力の程宜しくお願い致します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	33	3	0	1		校舎内外とも衛生管理には留意しております。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	34	3	0	0	・特性にあわせ、先生の課題と自分がやりたいことをうまく授業に取り入れてもらっています。 ・子供の事をすぐく理解して下さい、少しライラしてきたら休憩を入れてクールダウンしてもらったり、おしゃべりに付き合ってくれたりして子供をリラックスさせてくれていると思います。	貴重なご意見ありがとうございます。これからもお子さま一人一人に合った支援を組み立てて参ります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	32	3	0	2		事業所HP等で支援プログラムを公表させて頂いております。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	36	1	0	0	・話をよく聞いてくださるので、子どもにあった支援をしてきています。	ありがとうございます。これからもお子さま一人一人に合った支援を組み立てて参ります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	34	0	1	2		お子さま一人一人に合わせて支援内容を設定させて頂いております。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	36	0	0	1		今後も取り組んで参ります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	32	3	0	2	・定期的な内容を少し変えて下さったり、1日の中でもいろいろな内容の勉強を考えて頂いているので満足しています。	今後も取り組んで参ります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	6	3	10	18		クラゼミでの活動では交流は行っておりません。今後ご要望がございましたら検討させていただきます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	36	0	0	1		今後も取り組んで参ります。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	35	1	0	1	・送迎に行けないもあり、面談ではなく、LINEでのやりとりになっている。サインも祖父母である。	保護者様へのご説明は毎回行っております。対面でのご説明が難しい場合は個別に対応させていただきますのでご協力お願い致します。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	26	0	3	8		今後も取り組んで参ります。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達について共通理解ができていると思いますか。	35	2	0	0	・よく話を聞いてくれるのでありがたく思っています。 ・毎週行くたびに1週間分の子供の様子を聞いて下さるのでお話ししています。	ありがとうございます。これからも情報共有に努めて参りますのでご協力お願い致します。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	34	1	0	2	・困ったことがあれば、いつも話を聞いてくれます。 ・定期的に面談もありますが、毎週話を聞いて頂いて助言をもらっています。	活動後は毎回当日の活動のご報告をさせて頂いております。今後も継続して参ります。気になった点やご相談などいつでもお申し出下さい。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	36	1	0	0		今後も取り組んで参ります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	3	7	20		クレーゼミでの活動では交流は行っておりません。今後ご要望がございましたら検討させていただきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	32	1	0	4		活動後は毎回当日の活動のご報告をさせて頂いております。今後も継続して参ります。気になった点やご相談などいつでもお申し出下さい。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	36	1	0	0		今後も取り組んで参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	29	1	0	7	・定期的に通信やホームページ等で色々な情報を見させて頂いております。とても分かりやすいです。	通信は毎月発行し、予定やご連絡など差し上げております。自己評価の結果につきましては事業所HP等で発信しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	33	1	0	3		十分留意しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27	0	2	8		各種マニュアルは全校舎策定されております。訓練についても指導員全員が定期的に研修・訓練を受けております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24	1	1	11		様々な災害を想定し定期的に防災訓練を行っています。活動中に行うこともございますのでご協力の程宜しくお願い致します。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28	0	0	9		今後も取り組んで参ります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25	1	0	11	・怪我をしたことがないため、わかりません。 ・特に当てはまらない	契約時の重要事項説明書に記載、ご説明させて頂いております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	36	1	0	0	・毎回楽しんで行っています。	ありがとうございます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	27	8	2	0	・子供の意欲の問題 ・疲れて波があります。 ・金曜日に通っているので疲れがたまっているとイライラして「今日は休みます！」となってしまうのですが、いつもは先生とお話するのが楽しくて通うのを楽しみにしています。	ありがとうございます。今後もお子さまが楽しく通所出来るよう努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	34	2	1	0	・できるなら、回数を増やしたいくらい満足しています。 ・少しずつ色々な内容を勉強するようにプリントにまとめて下さり、子供が興味をもって分かりやすく学べるようにして頂いているので、とても満足しています。	ありがとうございます。頂きましたご意見を真摯に受け止め、より良い支援ができるよう指導員一丸となって取り組んで参ります。

【ご意見ご感想】 事業所へのご意見や感想をお願いいたします。
これからも宜しくお願いします
いつも寄り添った対応をしてくださり感謝しています。
今後ともよろしくをお願いいたします。
いつも良くして頂いて、助かっています。これからも、よろしくをお願いします。
勉強が嫌いで放課後デイサービスに行くことを嫌がる時もあるので、引き続き、様子を見ていただき、子どものペースに合わせて対応してもらいたいです。いつもありがとうございます。
いつも優しく対応してくださるおかげで、子どもが楽しみに通っています。学校以外で安心して通える場所を提供していただいています。
信頼できる先生方にとってもお世話になっております。
個々の特性に合った支援をしていただき、ありがとうございます。
満足しています。
いつもこどもに寄り添っていただきありがとうございます。苦手な面のご支援非常にありがたいです。
いつもありがとうございます。
いつもお世話になっております。今後ともよろしくをお願いします。
日頃ありがとうございます。親子ともに安心して利用させていただいています。
小学1年になり環境の変化があり子どもも親も毎日の生活に慣れない中で保育園の時から利用させていただいているクラゼミさんは〇〇にとって安心して過ごせ〇〇らしくいられる場所になっていると感じます。放課後デイサービスを他のところも利用させていただいておりますが、こんなに親身になって話を聞いて下さるところはないと思っております。いつもありがとうございます。
月1回の参観やフィードバックなど、ありがたいです。いつも話を親身に聞いてくださりありがとうございます。
3ヶ月に1回ある面談が、なかなか希望時間帯に添えず、あっという間に3ヶ月がきてしまう気がして有休取りづらい人にとっては合わせるのがつらい時がある。保育園、学校授業参観、行事など今は平日なので。
ちょっとした事でも親身になって聞いて下さったり、素早い対応をしていただき、先生達には本当に感謝してます。
いつも子供や親に寄り添って相談に乗ってくれるので心強いです。
息子はクラゼミに通っている子の中では特に声が大きく、邪魔をしていないか心配ではありますが、勉強を教われる環境でマンツーマンで学べる機会をいただけることに感謝しています。
いつもありがとうございます。
なかなか見学行けなくてすみません

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
事業所名		こどもサポート教室「クラ・ゼミ」山形南栄校				
		公表日 2025年 2月 15日				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		個別の配慮が出来るようパーテーションで区切ったり、個室で対応できる環境を整えている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		事業所が2階にあるため階段があるが補助が必要な際は駐車場までの送迎を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		出来る限りその時間を設けるために様々なツールを使用して情報共有をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		出来る限りその時間を設けるために様々なツールを使用して情報共有をしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		ニーズには答えている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		ニーズには答えている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			機会があれば参加の方向で検討。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎回の利用終了後にフィードバックを実施し常に保護者様と情報交換できる体制を整えている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○				
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	送迎時に会う保護者同士で関係性が出来た事もある。	要望があれば実施を検討。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		月1回発行の通信を配布している。 ブログ、Instagramの活用、情報発信。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きの書庫を使用。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	社会福祉協議会主催の地域会議には参加。近隣店舗へのあいさつは実施している。	なかなか実施できていない現状ではあるが出来ることから検討。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		おやつ配布の際は必ずお声がけしている。	食事提供はないがアセスメントの際に聞き取りを実施。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				